

## 昔の虻田の暮らし写真や地図で展示 郷土研究会の役場ロビー展

江戸時代から昭和にかけての虻田の街並みなどを、写真や地図で振り返る「近現代の虻田の街並み展」(虻田郷土研究会<小弾正昭男会長>主催)が、11月19日から30日まで役場ロビーで開かれました。展示したのは、江戸時代、明治、大正、戦前の昭和、戦後の昭和の4つに区分された地図、写真合わせて80点で、同研究会として初の開催。

明治43年(1910年)の有珠山金比羅山噴火、昭和3年(1928年)長輪線開通前夜の本町商店街図、昭和20年ごろの虻田市街略図など虻田の歴史を伝えています。

訪れた町民らは、なつかしように食い入るように眺めていました。



なつかしように写真に見入る町民の皆さん

11月28日、津波ハザードマップに伴う住民説明会が、完成後初め



いろいろな意見が出された津波ハザードマップ説明会

てあぶたふれ合いセンターで開かれ、約30人が参加し、災害時の避難場所などについて認識をあらたにしました。

当日は、荒天となり、当初予定していた室蘭地方気象台職員の津波に関する講話が中止となり、完成したハザードマップの説明のみとなりました。

真屋町長が「今後は、各自治会や団体など連携しながら、一人の犠牲者をださない取組みを行っていききたい」と挨拶。会場からは、「徒歩で避難できない人や高齢者などにどう対処するのか」「津波だけでなく次の噴火災害に対処しなければならない」など多くの質問や意見が出されました。

## 津波ハザードマップ完成後初の説明会 避難時の行動や避難場所を確認



5分間走を真剣に走る児童たち

年に1度の体力テスト「町民体力テスト会」(洞爺湖スポーツ少年団他主催)

が、11月20日あぶた体育館で約50人が参加して行われました。

当日行ったのは、小学生から64歳までが、立ち幅跳び、腕立て、上体起こし、時間反復、5分間走の5種目。65歳から79歳までは、握力、上体起こし、長座体全屈、片足立ち、障害物歩行、6分間歩行の6種目で、到達点に合わせて一人ひとりに2級から5級までの合格証が手渡されました。参加した虻小6年生の男子は「ずっと3年間3級だったので2級に上がってうれしい」と小学生最後の昇級に喜びいっぱいでした。

## 基礎運動で運動能力を確認 町民体力テスト会

## 一足早いクリスマス 水の駅クリスマスフェア開催

クリスマスを目の前にした12月8、9日の両日、「水の駅クリスマスフェア」(洞爺まちづくり観光協会主催)がとうや水の駅で開かれ、親子連れやクリスマスプレゼントを求める人などでにぎわいました。

同フェアは、3年前から開催され、町内やニセコ、札幌など30店が出店。キャンドルやポストカード、リース、雪の結晶を形どったネックレスなどクリスマスにちなんだ商品が、会場いっぱいに並べられました。このほか、消しゴムはんこの製作体験や化粧品作りのワークショップ、ライブなど盛りだくさん。訪れた人らは、一つひとつかわいら



水の駅をクリスマス一色に染め上げたクリスマスフェア

しい雑貨を手に取りながら買い物を楽しんでいました。

# まちのわだい

